

子育て支援ニーズ調査について

1 調査の主旨

「西東京市子育て・子育てワイワイプラン（第三次）」の策定にあたり、市民の生活実態、教育・保育・子育て支援に関する利用状況、利用ニーズを把握することと併せて、現行ワイワイプラン（第二次後期）の第5章として内包される「市町村子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～令和6年度）についても計画年度終了に伴い、これまでの計画を引き継いだ「市町村子ども・子育て支援事業計画（第三次）」を併せて策定するため、教育・保育・子育て支援の量の見込み算出に係る基本データを取得することを目的として行うもの。

2 対象・発送数・調査方法

- ①住民基本台帳の中から小学校就学前（0～5歳）の子ども1,300名を無作為に抽出し、その保護者を対象に無記名アンケートを実施する。
- ②住民基本台帳の中から小学生1,300名を無作為に抽出し、その保護者を対象に無記名アンケートを実施する。

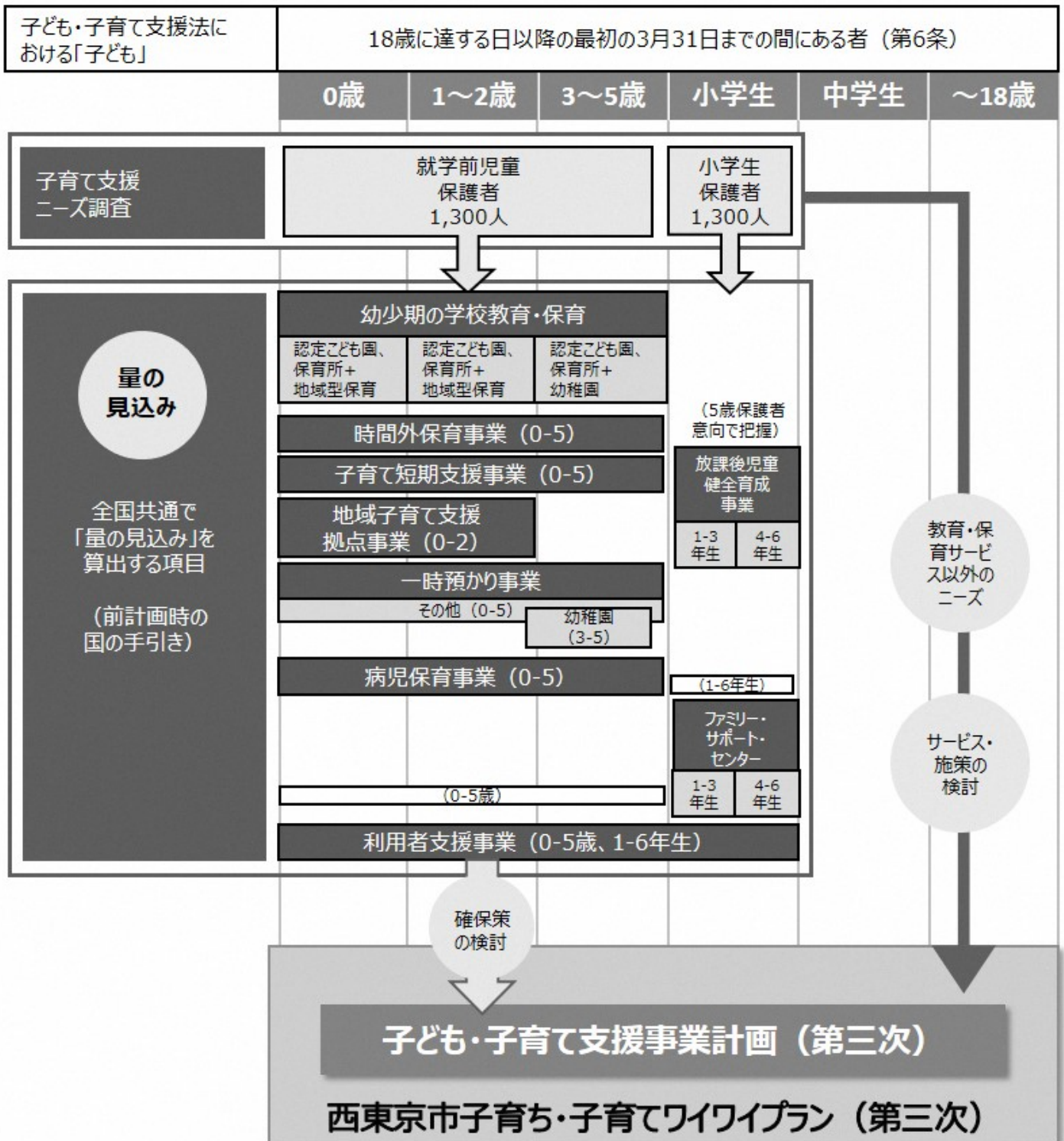
調査期間について、週末を3回含んだ3週間とする。

調査方法について、郵送回答・WEB回答の2種類から選択できるものとする。

対象者	発送数	調査方法
就学前児童（0～5歳）の保護者	1,300人	住民基本台帳より無作為抽出 郵送配布・郵送もしくはWEB回収/無記名
小学生（1～6年生）の保護者	1,300人	住民基本台帳より無作為抽出 郵送配布・郵送もしくはWEB回収/無記名

3 ニーズ調査から計画への反映

ニーズ調査は、就学前の教育・保育の量の見込みを算出するために必須とされる設問群と、市におけるさまざまな子ども・子育て支援の取組を検討するための独自設問群で構成する。



4 ニーズ調査の項目（市の独自設問）

◎＝国の基本必須項目、△＝国の任意項目、_____＝市独自項目

また 新しい項目については行頭文字●、

前回調査項目をもとに修正した項目については行頭文字★を記載した。

就学前児童（0～5歳）の保護者・小学生（1～6年生）の保護者に対する設問		
調査対象者の属性等：回答者、子どもの年齢、 <u>子どもの健康状態</u> 、配偶者の有無、同居者、子育てを主に行っている者（ <u>父親が子育てに関わっていない理由</u> ）、居住地区、 <u>居住歴</u> 、 <u>居住継続の意向</u>		◎
保護者の就労状況	母親・父親の就労形態・就労日数・時間	◎
	フルタイムへの転換希望	◎
	非就労者保護者の就労意向（ <u>就労の予定がない理由</u> ）	◎
平日の教育・保育サービスの利用状況	利用の有無、利用中のサービス（種類、時間、場所、理由）	◎
	今後の利用意向（種類）	◎
	<u>保護者自身で送迎可能な範囲（時間）</u>	
	<u>乳幼児期の集団での保育・教育が必要と考える時期、量</u>	
	<u>サービス選択で重視する点</u>	
教育・保育の事業探し	<u>事業を探した経験、探した結果、結果の満足度（不満の理由）</u>	
	<u>探さない・探さなかった理由</u>	
●地域の子育て支援制度・サービス	<u>★子育てに関するサービス情報の入手方法</u>	
	<u>★西東京市子育て応援アプリ「いこいこ」の認知度、利用の有無、利用意向</u>	
★地域の子育て支援拠点事業・サービス	<u>★市の「地域子育て支援センター」の認知度、利用の有無、利用意向</u>	
	<u>★市の「子育てひろば」の認知度、利用の有無、利用意向</u>	
	<u>★市の「子ども家庭支援センター」の認知度、利用の有無、利用意向</u>	
	<u>★市の「児童館・児童センター」の認知度、利用の有無、利用意向</u>	
	<u>今後の利用意向、求める子育て支援（自由記入）</u>	
土休日、休暇中の対応	利用希望・意向（時間帯）	◎
	幼稚園利用者の利用希望・意向（時間帯）	◎
病気の際の対応	<u>市の病児・病後児保育の認知度、利用有無、満足度、利用意向</u>	
	病気の際の対応の方法、病児・病後児保育施設の利用意向・日数	◎
	<u>病気の際の訪問型サービスの利用意向</u>	

不定期の教育・保育事業や一時預かり等	<u>市の一時預かりの認知度、利用有無、満足度、利用意向</u>	
	利用状況、未利用理由、利用意向（理由、日数、預け先）	◎
	家族以外で対応したケースの有無、対処方法	◎
	<u>ファミリー・サポート・センター利用の満足度</u>	
放課後の過ごし方	過ごさせたい場所、日数	◎
子育て全般	子育てを楽しんでいるか	△
	<u>子育てに有効、つらさ解消に必要と思うこと</u>	
	気軽に相談できる人や場所	△
	<u>保護者の自己肯定感、こどもをたたくことの有無と理由</u>	
	<u>仕事・育児・プライベートの優先度</u>	
	<u>●夫婦の希望する子ども数と予定の子ども数、乖離が発生した理由</u>	
●過去の省察	<u>●「子ども」時代、自身の生活や暮らしの決定方法</u>	
	<u>●「子ども」時代、やっておいて良かったことあるいはやってあげばよかったこと</u>	
	<u>●「子ども」時代に知りたかったあるいは欲しかった支援やサービス</u>	
<u>その他子ども・子育て支援に対する自由意見</u>		

就学前児童（0～5歳）の保護者・小学生（1～6年生）の保護者に対する設問のうち、今回調査で新しく設定した設問とその理由		
地域の子育て支援制度・サービス	子育て・子育てに関するサービス情報の入手方法	現在 子育て・子育てに関するサービスの情報をどのように入手しているか、またどの媒体であれば情報の受信がしやすいかについて調査し、施策に反映するため。
	西東京市子育て応援アプリ「いこいこ」の認知度、利用の有無、利用意向	
地域の子育て支援拠点事業・サービス	★市の「地域子育て支援センター」の認知度、利用の有無、利用意向	前回調査よりも具体的な活動名に言及し、それぞれの認知度の調査を行うため。
	★市の「子育てひろば」の認知度、利用の有無、利用意向	
	★市の「子ども家庭支援センター」の認知度、利用の有無、利用意向	

	<p>★市の「児童館・児童センター」の認知度、利用の有無、利用意向</p> <p>今後の利用意向、求める子育て支援（自由記入）</p>	
子育て全般	夫婦の希望する子ども数と予定の子ども数、乖離が発生した理由	希望する子どもの数と予定の子どもの数に乖離が発生する要因を調査・分析し、若い世代に必要な支援を調査・分析・提案を行うため。
過去の省察	<p>「子ども」時代、自身の生活や暮らしの決定方法</p> <p>「子ども」時代、やっておいて良かったことあるいはやっておけばよかったこと</p> <p>「子ども」時代に知りたかったあるいは欲しかった支援やサービス</p>	大人になって振り返った上で、子ども時代に知りたかった、欲しかった制度や支援等を調査し、施策提案に役立てるため。